

国語科学習指導案

日 時 平成20年10月9日(木)第2校時

対 象 大和中学校 2年1組 (35名)

授業者 教育センター所員 中村 なるみ

1 単元名 意見を書こう

教 材 「Aさんの意見文」「Aさんの意見への反論文」(東書2年P110, P113)

反論文を書くための意見文(教師による修正を行ったもの)

2 単元観

(1) 生徒観

本学級の生徒は、1年次に「根拠を示して書こう」という単元において「自分の意見を相手に受け入れてもらえるように、明確な根拠を挙げて文章を書く」学習をしている。2年生になってからは、非連続テキストを見て気付いたことや考えたことを200字程度の意見文にまとめる学習も行っている。

事前のアンケートでは、高校入試で課題作文が出題されることもあり、ほとんどの生徒が「書くこと」の力を身に付けたいと考えており、学習の必要性も感じている。具体的には、「書くことにおいてどのような力を付けたいか」という問いに、「相手に気持ちや考えが伝わるように書く力」や「構成を工夫して分かりやすく書く力」を付けたいと考えている生徒が多い。実際に授業で書いたものを見ても、指示された内容について自分の意見を自由に記述することはできるが、相手や目的に応じて条件をふまえて書くことについては苦手としている生徒が多い傾向が見られる。また、「書くこと」の学習に関しておよそ2/3の生徒が、「読むこと」の学習などに比べると学習意欲が低いという結果であった。その理由として、「何を」「どのように」書いてよいのか分からないということや、挙げる生徒が多く、細やかな手立てを取りながら苦手意識を取り除き、「書こう」という意欲を持たせることが大切だと考える。

今回の単元「意見を書こう」では、他人の意見に対して、根拠を示して反論する文章を書くことが主たる活動であるが、取り扱いにおいては、相手の意見の根拠を十分検討することに重点を置いた指導を行うことで、「何を」書けばよいのかという課題の解決につなげたい。また、相手の意見の根拠を検討することが、自分の意見文の構成の工夫へとつなげ、「どのように」書けばよいのかという課題にも応えることができるような指導過程をとりたい。

(2) 教材観

1年次の「根拠を示して書こう」は、自分の意見を相手に受け入れてもらえるように明確な根拠を挙げるのが目標であった。本単元は、その発展として、自分が賛成できない他者の意見に対し、その根拠を検証して反論する方法を身に付けることがねらいである。「反論」という言葉は、ややもすれば否定的にとらえられることが多い。しかし、そもそも思考は、他者の異なる思考と衝突し、対立する中で深められ、より高次の思考へと発展していくものである。ただ、感情的に反発するだけの反論ではなく、自分がなぜ相手の意見に反対であるかの論理的説明を伴った反論の方法を身に付けさせることは、議論能力、論理的思考力を育てる上で必要であると考ええる。

そこで、本単元では教科書の例文をモデルとして活用したい。「Aさんの意見文」は、「読書量の減少は問題がない」という意見を「メディアの多様化により、活字以外の他のメディアから情報を

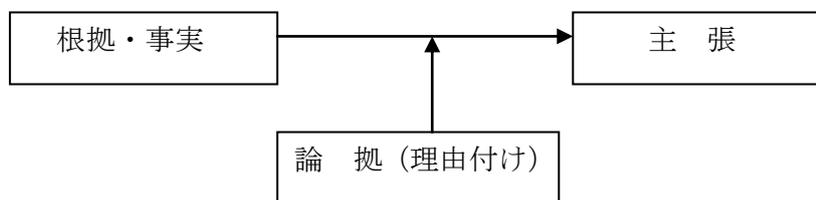
得ているから」というただ一つの根拠から述べており、論の飛躍がある。「Aさんの意見文」の根拠を吟味しながら意見文を正確に理解させることを通して、「根拠の検証の仕方」を学ばせたい。また、「Aさんの意見への反論文」では、「反論文の構成の仕方や引用の際の注意点」について気付かせ、反論文を書く際の参考にさせたい。

(3) 指導観

「書くこと」の学習としては一つの「作品」を完成させることはもちろん大切なことだが、今回は「何を」「どのように」書けばよいのかという課題の解決に向け、反論文を書くにあたって次のことを指導の重点としたい。

① 意見文を図式化して理解させる

分かりやすい意見文・反論文の構成要素として、「主張」、「根拠」、「理由付け」が挙げられる。「主張」が成立するには何らかの「根拠」が必要だが、その「根拠」を単独で提示しても意見文・反論文としては不十分である。「主張」と「根拠」を結合させる場合には、「理由付け」を明示することで意見文・反論文は分かりやすいものになると考える。しかし、「主張」とその「根拠」の確認で終わることが多い。相手の意見に反論するということは、相手の論の不備について意見が成り立たないことを示すことなので、その「根拠」がどうして「主張」につながっていくのか、その「理由付け」を検討することが「論を吟味する」ポイントとなる。授業に際しては「主張」、「根拠」、「理由付け」を図式化する場面を設定し、意見文を正確に理解する手立てとしたい。また、この考え方は、意見文・反論文を書く場合の手立てにもなると考える。図式化に際しては、トゥールミンの議論モデルを修正して用いる。(下図)



② 分かりやすい反論文の構成の指導

反論文の論理構成が完成した段階で、分かりやすさを追求させる指導が必要となる。これは意見文であれ、反論文であれ、相手に自らの主張を分かりやすく伝えることを目的とした文章表現であることから、指導する上で重要であると考えられる。例えば、何らかの意見を相手に伝える場合に、「主張－根拠－理由付け」の順で表現するのと、「根拠－理由付け－主張」の順で表現するのでは、どちらがうまく伝えられるかという問題が存在する。また、「主張」「根拠」「理由付け」をどのような接続語を用いて文章全体を作り上げていくのか、ということも分かりやすい文章を書かせる指導において、無視できない問題であろう。

今回は、色違いの4枚の付箋を用いて、それぞれに「(相手の主張の)根拠」(緑)、「(相手の主張の)理由付け」(青)、「根拠への反論」(黄)、「理由付けへの反論」(桃)を記入し、並べ替えながら構成を検討させたい。その際、目的・相手意識についても当然触れる機会があるものとする。

3 単元の指導目標

相手の意見を正確に理解させ、構成を工夫して自分の意見（反論文）を書かせる。

4 単元の評価規準

国語への関心・ 意欲・態度	ア 相手意識を持って、根拠の明確な分かりやすい意見文を書こうとしている。
書く能力	イ 自分の立場を明確にするとともに、自分の意見の基となる根拠を明らかにしている。 ウ 文章の内容が相手に効果的に伝わるように論理の展開を工夫している。
言語についての 知識・理解・技能	エ 相手や目的に応じて、文章の形態や展開の違いがあることについて考えを深めている。

5 単元の授業過程（全4時間）

段階	主な学習活動	教師の指導・支援	評価とその方法
1	(1) 意見文を読む際の、自分の立場を意識する。 (2) 意見文とはどのようなものかを考える。 (3) 「Aさんの意見文」と「Aさんの意見への反論文」を読み、反論文の構成を確認する。	<input type="checkbox"/> 日ごろの受動的な立場を振り返らせるために、新聞などから投稿記事を準備する。 <input type="checkbox"/> 感想文と意見文とを比較させ、その違いから意見文の特徴を捉えさせる。 <input type="checkbox"/> 反論の際の議論の柱、構成についての気付きを挙げさせ、反論文の書き方として黒板にまとめる。（「反論文の構成の仕方や引用の際の注意点」に気付く）	エ 目的に応じて、文章の形態や展開の違いがあることについて理解している。【観察】
2	(1) 「Aさんの意見文」の内容を図式化する。 (2) 図式化したものから、反論のポイントを探る。 (3) 他の意見文についても図式化してみる。	<input type="checkbox"/> 図式化にはトゥールミンの議論モデルを修正したものを用いる。（「根拠の検証の仕方」を学ぶ） <input type="checkbox"/> 図式化したものと反論文を比べ、理由付けと根拠のそれぞれに反論していることを押さえる。 <input type="checkbox"/> 他の意見文を用いて、図式化する練習を行い定着を図る。	イ 意見文を図式化している。 【ワークシート】

<p>3 (本時)</p>	<p>(1) 自分が反論文を書く意見文について図式化し、相手の意見の論理構成を理解する。</p> <p>(2) 図式化したものを、グループ内で発表する。</p> <p>(3) 反論文の構成を考える。</p>	<p><input type="checkbox"/> 前時の学習を振り返り、それを参考にす るよう指示する。</p> <p><input type="checkbox"/> 個人で取り組ませた後、グループ内で発 表し合い、間違いがないか確認させる。</p> <p><input type="checkbox"/> 4色の付箋に反論の柱を記入させ、付箋 を操作しながら分かりやすい構成を工夫さ せる。</p> <p><input type="checkbox"/> 第1次にまとめた反論文の書き方の手引 きを振り返らせる。</p>	<p>イ 書き手の「主張」「根 拠」「理由付け」を理解 している。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p> <p>ウ 相手に分かりやす い構成を考えている。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p>
<p>4</p>	<p>(1) 反論文を書く。</p> <p>(2) 書き上げた反論文 を、グループ内でスピ ーチする。</p>	<p><input type="checkbox"/> 字数は400字程度とする。</p> <p><input type="checkbox"/> スピーチに対して、互いに感想を述べる ようにさせる。</p>	<p>ア 根拠の明確な、分か りやすい反論文を書 こうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【観察】</p>

